



富士山

Beautiful Japan 5

吉田初三郎の世界

2024年5月18日「土」ー7月7日「日」※一部作品の展示替えを行います。

休館日：月曜日 開館時間：午前10時ー午後5時（展示室入場は午後4時30分まで）
観覧料：一般800（640）円／高校生・大学生400（320）円／小・中学生200（160）円
・（内）は20名以上の団体割引料金。府中市内の小中学生は「府中っ子学びのパスポート」提示で無料。未就学児は無料。
・障害者手帳（ミラロID）をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。本展観覧料でコレクション展もご覧いただけます。
・最新の開館状況については、当館ウェブサイト、またはハローダイヤル等でご確認ください。
主催：府中市美術館「〒183-0001 東京都府中市浅間町1-3 ハローダイヤル 050-5541-8600」

府中市美術館
Fuchu Art Museum
<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>

教育委員会定例会資料

Beautiful Japan

吉田初三郎の世界

大正から昭和にかけて、空高く飛ぶ鳥や飛行機から見下ろした視点による鳥瞰図のスタイルで数多くの名所案内を描いた吉田初三郎。初三郎による鳥瞰図は、実際の地形を正確に表現するものではなく、変幻自在の工夫が施された画面となっています。例えば見えないはずのランドマークが描かれていたり、中心となる建物が極端に大きく描かれていたりするのです。かと思えば、線路には当時走っていた車両が描かれ、桜の名所には桜の木が、温泉には湯煙が立ち上る様が丁寧に描き込まれています。大胆なクローズアップやデフォルメが施された構図と、細部まで手を抜かない描写は目を楽しませつつも非常にわかりやすく、絵の中を旅するかのような気分を味わうことができます。初三郎が描いたのは、現実の景観を重ね合わせた上で生み出される、現実には存在しない風景でした。それは見る側が見たいと望み、作る側が見せたいと願う、理想化された風景、Beautiful Japan の姿だったのです。本展では10点以上の大型肉筆鳥瞰図をはじめ、ポスターや絵葉書、さらには絵画作品などを通じて吉田初三郎の世界の魅力に迫ります。

- 1 ポスター《Beautiful Japan (駕籠に乗れる美人)》昭和5(1930)年 江戸東京博物館蔵
 - 2 油彩画《地獄谷の湍流》昭和5(1930)年頃 長野電鉄株式会社蔵
 - 3 ポスター《霧島・林田温泉》昭和10(1935)年 堺市博物館蔵
 - 4 屏風《犬山之春 蘇川之秋》昭和6-7(1931-32)年 犬山城白帝文庫蔵
 - 5 印刷折本《京王電車沿線名所図絵》昭和5(1930)年 個人蔵
 - 6 肉筆画《筑波山神社を中心とする名所図絵》昭和戦前期 堺市博物館蔵
 - 7 肉筆画《神奈川県鳥瞰図》昭和7(1932)年 神奈川県立歴史博物館蔵
 - 8 印刷折本《神奈川県観光図絵》昭和9(1934)年 神奈川県立歴史博物館蔵
- [表面] 肉筆画《富士身延鉄道沿線名所鳥瞰図》(部分) 昭和3(1928)年 堺市博物館蔵

1 初三郎の時代

吉田初三郎は京都に生まれ、関西美術院で洋画家・鹿子木孟郎に学びました。鉄道沿線の名所案内などで商業美術家としての名声を獲得します。観光旅行が盛んになる時代の後押しを受けて活躍の幅を広げていきました。関東大震災や戦争といった時代の動きともリンクしている初三郎の活動を、ポスターなどのグラフィックや絵画作品などから多面的に辿ります。



1



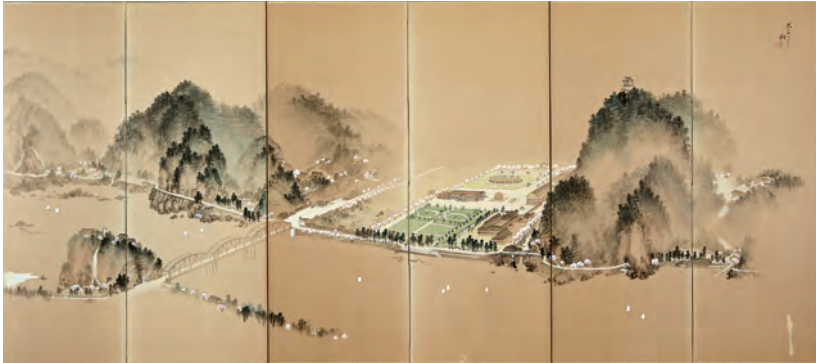
2



3



4



7



8

3 制作に迫る

鉛筆での書き込みのある肉筆画や制作途中の校正刷りなど、大画面の肉筆画 [fig.7] から手で眺められるパンフレットである印刷折本 [fig.8] への過程がわかる作品から制作の実態に迫ります。また、初三郎が活躍した時代は印刷技術が進展していった時代でもありました。印刷技術と並んで発展していった鳥瞰図の変化も併せてご紹介します。

2 魅力に迫る

「万人が見て楽しみながら解り得べきもの」、初三郎自身がこう語っている通り「初三郎式」と呼ばれる鳥瞰図はどれも抜群のわかりやすさを誇ります。まっすぐに伸びる鉄道、拡大して描かれた中心モチーフ、広い範囲を湾曲させて収めた画面などの特徴的な描き方はいずれもわかりやすさにつながっています。肉筆作品を中心に、一枚の鳥瞰図を描くために施された様々な工夫から、その魅力に迫ります。



6

関連事業

展覧会講座「吉田初三郎の世界」

6月9日[日] 14時－ | 1階講座室 (先着60名)

講師：大澤真理子 (当館学芸員)

親子鑑賞会「親子で楽しむ初三郎の世界」

5月26日[日]、6月29日[土] いずれも14時－ (30分程度)

2階企画展示室 (展覧会観覧料が必要)、予約不要

対象：小学生のお子さんとその保護者

ワークショップ「館長と府中市美術館の鳥瞰図を描こう」

6月22日[土] 14時－ | 1階創作室 (定員12名)

講師：藪野健 (当館館長、画家) | 事前申込制 (詳細は当館ウェブ)

サイトに掲載予定、申込締切 6月3日[月] | 対象：中学生以上

同時開催

コレクション展「たまマップ」

公開制作「手嶋遥」

今回の展覧会

7月20日[土]－9月6日[金]

企画展「市制施行70周年記念 自然、生命、平和

私たちはじっと見つめられている 吉田遠志展」

コレクション展「＃好きを探してミュージアム」

7月20日[土]－8月12日[月・休]

市民ギャラリー特別展示

「市制施行70周年記念 競馬場とケヤキ並木」

吉田初三郎 [明治17(1884)年－昭和30(1955)年] 京都に生まれる。友禪の図案絵師への奉公等を経て、洋画家・鹿子木孟郎が主宰する画塾で学び、鹿子木より示された商業美術の道に進む。大正3(1914)年に《京阪電車御案内》が皇太子(後の昭和天皇)の目に留まり「奇麗で解り易い」との言葉を受ける。鉄道省による旅行ガイドブック《鉄道旅行案内》の挿絵と装丁を手かけ、また観光誘致を盛んに行った鉄道会社からの依頼による沿線名所案内を数多く描き、「大正の広重」と呼ばれた。昭和5(1930)年には鉄道省国際観光局によるポスター《Beautiful Japan》を描くなど、大正末から昭和戦前期にかけて観光グラフィックの分野で幅広く活躍し、生涯に手がけた鳥瞰図は1600点以上とも言われる。

交通案内

京王線東府中駅北口から

－徒歩17分・ちゅうバス府中駅行き

「府中市美術館」①下車すぐ(8:05から30分間隔で運行)

京王線府中駅からバス

－ちゅうバス多摩町行き

「府中市美術館」①下車すぐ(8:00から30分間隔で運行)

－武蔵小金井駅南口行き(一本木経由)「天神町二丁目」②下車すぐ

－武蔵小金井駅南口行き(学園通り経由)

「天神町幼稚園」③下車徒歩8分

JR中央線武蔵小金井駅南口からバス

－府中駅行き(一本木経由)「一本木」④下車すぐ

－府中駅行き(学園通り経由)「天神町幼稚園」⑤下車徒歩8分

JR中央線国分寺駅南口からバス

－府中駅行き(東八道路経由)「天神町幼稚園」⑥下車徒歩8分

お車の場合は、美術館近くの府中市臨時駐車場(無料、54台収容)をご利用ください。

〒183-0001 東京都府中市浅間町1-3

ハローダイヤル 050-5541-8600 | <https://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>



府中市美術館
Fuchu Art Museum